

追加資料

福祉環境委員会
(健康局)

令和3年9月2日

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計 : 23,333 件)

※8月19日の392人が過去最多

●直近の状況 (発表日ベース)

8/30 ~ 802人 **前週の同日比 (累計)** **-80人** **-9%**

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	8/30~9/5	8/30	8/31	9/1	9/2	9/3	9/4	9/5
	感染者数	126	377	299				
	累計/週	126	503	802				
	先週比 (累計)	+20	+9	-80				
	先週比 (%)	+19%	+2%	-9%				
先週	8/23~8/29	8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28	8/29
	感染者数	106	388	388	307	282	330	283
	累計/週	106	494	882	1189	1471	1801	2084
先々週	8/16~8/22	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21	8/22
	感染者数	114	321	367	392	292	276	325
	累計/週	114	435	802	1194	1486	1762	2087

(2) 年代別の発生届出状況

- ・直近1週間では20・30代が40.4%、10代以下24.5%であり、若年層の感染者の割合が多い状況にある。(確定日ベース)

年代	第5波(直近) 8/26~9/1	第5波(増加期※) 7/20~7/26	第4波(ピーク時) 4/22~4/28
全体	1,785人	242人	1,469人
10代以下	438人(24.5%)	44人(18.2%)	204人(13.9%)
20・30代	721人(40.4%)	109人(45.0%)	399人(27.1%)
40・50代	493人(27.6%)	72人(29.8%)	404人(27.5%)
60代	70人(3.9%)	9人(3.7%)	129人(8.8%)
70代以上	63人(3.5%)	8人(3.3%)	333人(22.7%)

※増加期・・・50名を超えた日の直前1週間

- ・第4波と比較してワクチン接種が進んだ70代以上の感染者数は激減している。また、10代以下のこどもの感染者数が増加しているが、全体の感染者数が増加したためである。

年代	第5波(直近) 8/26~9/1	第5波(増加期※) 7/20~7/26	第4波(ピーク時) 4/22~4/28
全体	1,722人	234人	1,136人
10代以下	438人(25.4%)	44人(18.8%)	204人(18.0%)
20・30代	721人(41.9%)	109人(46.6%)	399人(35.1%)
40・50代	493人(28.6%)	72人(30.8%)	404人(35.6%)
60代	70人(4.1%)	9人(3.8%)	129人(11.4%)

(3) クラスターの発生状況

- ・クラスターの発生状況としては、9月1日現在、累計で208件。

	件数					件数合計	人数	
	第1波 3/3~5/20	第2波 6/23~9/23	第3波 9/25~2/28	第4波 3/1~6/30	第5波 7/1~		人数	割合
保育所・学校	1	3	10	25	9	48	527	14.4%
高齢・障害福祉施設	1	2	18	48	6	75	1427	39.1%
病院	2	1	14	16	3	36	1232	33.7%
公的機関	2	0	2	1	0	5	54	1.5%
民間事業所	0	0	5	11	8	24	254	7.0%
酒類提供飲食店	0	2	5	2	3	12	116	3.2%
スポーツ・娯楽施設	0	0	4	1	0	5	44	1.2%
合計	6	8	58	104	29	205	3,654	100%

(4) 変異株について

①変異株の概要

ウイルスは常に少しずつ変異することが知られており、新型コロナウイルスについても2週間程度で変異を繰り返していると言われている。この中で、病気の感染力や免疫効果の低下に影響があると考えられる変異の有無を見ていくことが必要である。

現在、ヒトの細胞と結びつく部分に変異し、感染力の増加が懸念される①アルファ株 (N501Y 変異) や、感染力の増加に加え、免疫効果の低下が懸念される②ベータ株、③ガンマ株 (いずれも N501Y 変異+E484K 変異)、④デルタ株 (L452R 変異) 等の変異株が確認されている。

※変異株に対する新型コロナワクチン2回接種後の発症予防効果 (ファイザー社製ワクチン)

アルファ株 : 93.4% デルタ株 : 87.9%

(出典)

国立感染症研究所

「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) の新規変異株について (第9報)」

②本市の対応

神戸市では、検査の精度管理やクラスター事例の事後検証のため、市内医療機関の協力を得て全陽性検体の約5～6割を保健所が収集、健康科学研究所において自らゲノム解析を実施。この体制を活用し、独自に、変異株を迅速かつ的確に検出できる監視体制 (今後の新たな変異株の確認も含む) を整え、早期発見・早期対応により感染拡大・クラスター発生を防止する。また、変異株の状況について、市民に正確な情報発信を行う。

神戸市内の変異株確認状況

・L452R 変異株（デルタ株等疑い）PCR 検査の状況

届出日	市内新規陽性患者数	変異株検査数	検査数の割合	変異株陽性数	変異株の割合
6月7日-6月13日	111	52	46.8%	3	5.8%
6月14日-6月20日	68	31	45.6%	5	16.1%
6月21日-6月27日	59	28	47.5%	0	0%
6月28日-7月4日	66	27	40.9%	8	29.6%
7月5日-7月11日	91	44	48.4%	4	9.1%
7月12日-7月18日	132	76	57.6%	20	26.3%
7月19日-7月25日	203	103	50.7%	49	47.6%
7月26日-8月1日	493	277	56.2%	160	57.8%
8月2日-8月8日	925	461	49.8%	359	77.9%
8月9日-8月15日	1,197	548	45.8%	475	86.7%
8月16日-8月22日	2,091	873	41.8%	776	88.9%
累計	5,436			1,859	

※別途、市外発生届分で陽性事例1件あり（令和3年5月20日公表分、ゲノム解析で型別の確定に至らず）

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがあります。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性があります。

・ゲノム解析の状況

ゲノム解析実施期間	ゲノム確定件数	内訳			
		懸念される変異株		その他	
		アルファ株 (%)	デルタ株 (%)	E484Kがある変異株 (%)	その他 (%)
8月9日-8月15日	258	67 [0] (26.0%)	191 (74.0%)	0 (0%)	0 (0%)
8月16日-8月22日	469	60 [0] (12.8%)	409 (87.2%)	0 (0%)	0 (0%)
2月1日からの合計	4,594	3,379 [6] (73.6%)	773 (16.8%)	123 (2.7%)	319 (6.9%)

※[]はN501Y変異に加えてE484Q変異を持つアルファ株

※%は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても100にならない場合があります。

2 医療提供体制

	直近の状況			【参考】過去の入院・入所患者ピーク			
				第4波 (R3.3~)	第3波 (R2.9~R3.2)	第2波 (R2.6~9)	第1波 (R2.3~5)
	9/1	8/25	差	5/15	12/9	8/23	4/25
入院・入所患者	526人	445人	+81	429人	304人	96人	140人
入院患者数	283人	257人	+26	276人	170人	72人	106人
（うち重症）	(18人)	(14人)	+4	(23人)	(11人)	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	243人	188人	+55	153人	134人	24人	34人
自宅療養者	968人	978人	-10	288人	—	—	—
療養先調整中	987人	1210人	-223	1509人	254人	36人	—

※市内在住者の数字

- （入院） 「重症」、「中等症」、「入院」が必要と医師が判断した方
- （宿泊療養施設） 「軽症」、家族などの状況から自宅療養出来ない方
- （自宅療養） 「無症状」、「軽い症状」のある方

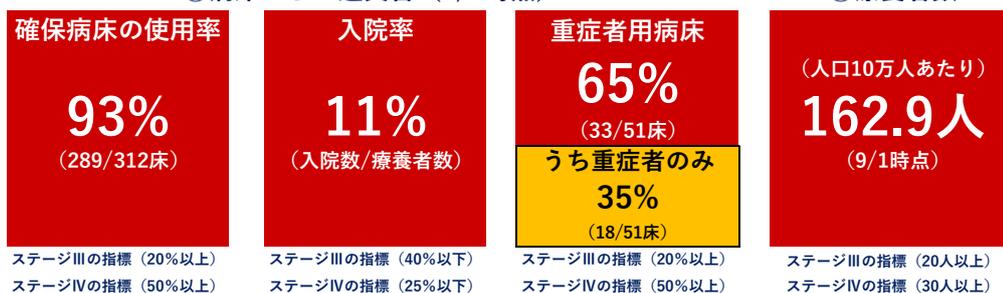
（1）入院の現状

①入院の状況

9月1日現在で病床使用率は93%、入院率は11%、自宅療養者数は968人、療養先調整中患者数は987人となっている。第5波の感染急拡大により新規感染者が急増し、非常に厳しい状況となっている。

医療提供体制等の負荷

①病床のひっ迫具合（9/1時点）



■ ステージIIIの基準に達している。
■ ステージIVの基準に達している。

感染の状況

③PCR陽性率



④新規報告数



⑤感染経路不明割合



②病床確保

○確保病床数

	増床数	市民病院機構 (3 病院)	その他市内医療機関 (20 病院)	合計 (23 病院)
4/15 (木) から	—	125 床	86 床	211 床
4/19 (月) から	+18 床	125 床	104 床	229 床
4/22 (木) から	+7 床	125 床	111 床	236 床
4/28 (水) から	+8 床	125 床	119 床	244 床
4/30 (金) から	+4 床	125 床	123 床	248 床
5/1 (土) から	+11 床	125 床	134 床	259 床
5/7 (金) から	+8 床	125 床	142 床	267 床
5/10 (月) から	+24 床	134 床	157 床	291 床
5/21 (金) から	+14 床	134 床	171 床	305 床
6/22 (火) から	△23 床 ※通常医療の制限解除あり	102 床	180 床	282 床
8/19 (木) から	+7 床	102 床	187 床	289 床
9/1 (水) から 順次	+32 床	134 床	187 床	321 床

○市民病院での医療制限の状況

	外来	入院・手術等
中 央	影響なし	入院：3割程度を制限 手術：病床の範囲内で実施
西	影響なし	4割程度を制限
西神戸	影響なし	4割程度を制限

※救急外来について

ウォークイン：各病院とも通常どおり

救急搬送：対応可能な病床の範囲内で受け入れ

○重症患者病床使用率（9/1時点） 65%（33床/51床） ※5月21日より51床確保
（重症者入院内訳）

- ・中央市民病院（重症者専用病床）：28床/36床

重症（1西A）	13人	計28人
中軽症～重症（1西B）	15人	

- ・神戸大学附属病院の重症者専用病床：5床/10床 ※5月10日より10床確保
- ・民間病院（1病院）：0床/5床 ※5月21日より5床確保

（2）宿泊療養施設の現状

施設名	入所状況
	(9/1時点)
ニチイ神戸 ポートアイランドセンター宿泊棟 令和2年4月11日～	72/100室 72%
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前 令和2年8月19日～	84/110室 76%
東横INN 神戸三ノ宮 I 令和2年12月19日～	67/88室 76%
ホテルサンルートソプラ 神戸アネッサ 令和3年8月20日～	45/138室 33%

使用率 約61%
268/436室（4施設合計）
（9月1日時点）

※市外在住者を含む

①宿泊療養施設の新規開設（5施設目）

場 所 中央区内で調整中
室 数 150室程度
開設日 令和3年9月中旬（予定）

②医療的ケア体制の拡充

症状が進行しつつある入所者に対して、重症化予防を目的として、早期に往診・治療などを行うため、神戸市医師会・中央市民病院などの協力を得て、医師の体制を強化。

（協力医療機関等）

- ・ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟 中央市民病院
兵庫県立災害医療センター
（8月16日～）
- ・東横 INN（神戸三ノ宮駅市役所前、神戸三ノ宮 I） 神戸市医師会（8月17日～）
- ・ホテルサンルートソプラ神戸アネッサ（新設） 日本赤十字病院、神戸市保健所
（8月20日～）

(3) 抗体カクテル療法センターの設置

重症化リスクのある患者に感染早期に抗体カクテル療法を実施するため、中央市民病院に抗体カクテル療法センターを設置。

使用薬品	中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」(商品名 ロナプリーブ) ・コロナ治療薬として7月19日特例承認(承認4例目) ・重症化リスク(入院・死亡リスク)が約70%減(海外での治験)
場 所	中央市民病院
対象者	軽症・中等症I以下の重症化リスク因子のある入所者のうち 症状が進行しつつあるなど医師が重症化の可能性があると判断した方
開始時期	令和3年8月27日(金)
治療人数	当初は2名から開始し、1日あたり10名程度の投与を予定。
実施の流れ	中央市民病院で投与を実施し宿泊療養施設で療養

(4) 自宅療養の現状

重症、中等症、それ以外で医師が必要と判断した者については入院の対象、軽症または家族などの状況から自宅療養できない者を宿泊療養施設入所の対象としており、それ以外の無症状、軽い症状のある者を自宅療養としている。

自宅療養者に対し各保健センターの自宅療養フォローアップチーム(看護師等による合計15名体制)により健康状態の確認を実施し、症状が進行しつつある方を早期に外来受診や往診・電話診療にて対応し、重症化を防止する。

3 感染拡大防止

(1) 相談状況(令和2年1月27日～令和3年8月26日)

相談窓口	件数(件)
①各保健センター(令和2年1月29日～)、 保健所保健課(令和2年1月27日～)	13,319
②新型コロナウイルス専用健康相談窓口(令和2年2月1日～) ※旧「帰国者・接触者相談センター」の件数含む	142,458
③チャットボット相談(令和2年5月20日～令和3年7月31日) 聴覚障害のある方や電話が苦手な方でも時間と場所を問わず、スマートフォン・タブレット等画面で気軽に相談先や受診先を確認できるツール。	48,552
計	204,329

※専用健康相談窓口最大相談件数：4月13日1,047件

※専用健康相談窓口直近(1週間)平均相談件数：666件(令和3年8月20日～8月26日)

(2) PCR検査体制について

市内で一日あたり最大1,300検体の検査体制を確保。

(当初令和2年1月末時点24検体(環境保健研究所(当時)のみ)→令和3年4月1日～1,300検体)

検査機関名	検査能力	備考
健康科学研究所 (旧環境保健研究所)	142 検体/日	当初 24 検体
シスメックス検査センター	300 検体/日	
市内医療機関	200 検体/日	
医師会検査センター	40 検体/日	検査センター移転拡充(令和2年11月30日～) ドライブスルー方式
プール検査	618 検体/日	令和3年4月1日～
合 計	1,300 検体/日	

(3) 積極的検査の実施状況

(ア) 介護・障害入所および通所施設の職員に対する定期的検査

- ・検査資源を最大限・効果的に活用しながら、クラスターの防止と医療提供体制の安定的な確保のために、特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、障害児・者入所施設における無症状の直接処遇職員に対する積極的(計画)検査を令和2年11月25日から実施。
- ・さらに、感染拡大・クラスター防止を強化するために、民間検査機関によるプール検査(4検体をまとめて検査を行う検査手法)を活用することで、令和3年4月1日から、対象施設を老人保健施設、グループホーム等の全ての入所施設への拡大に加え、国が示す検査対象施設の範囲を超えて全ての通所施設にも拡大。(通所施設での実施は政令市初)
- ・対象施設及び対象者(※下線:令和3年度に追加)
高齢者、障害児・者入所及び通所施設における直接介護等に従事する職員

【入所施設】

- ・高齢施設：特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、ケアハウス、認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ・障害施設：施設入所支援、障害児支援施設、共同生活援助(グループホーム)

【通所施設】

- ・高齢施設：通所介護(デイサービス)、通所リハ、地域密着通所
- ・障害施設：生活介護(デイサービス)、短期入所、自立訓練、就労継続支援(A)、就労継続支援(B)、就労移行支援

- ・検査対象施設数及び検査対象人数
1,606 施設（約 38,000 人）
- ・検査期間及び頻度
令和 3 年 4 月 1 日～半年程度（ワクチンの接種状況による）、当初は月 1 回程度、6 月 16 日から 2 週間に 1 回程度、7 月 26 日から 1 週間に 1 回程度に頻回化して実施。
- ・検査実績 467 施設 23,067 件（7 月 28 日時点）

(イ) 陽性患者が発生した高齢、障害児・者入所施設、学校園・保育所等への積極的検査
 ・高齢者、障害児・者入所施設や学校園・保育所等において、陽性患者が発生した際には、疫学調査による濃厚接触者の有無にかかわらず、念のためにフロアやクラス等の全員に対し積極的に検査を実施。

(ウ) 酒類を提供する飲食店

- ・地域クラスターに拡大する可能性をより早期に積極的に防止していくため、令和 2 年 11 月 19 日より「基本的に店名は公表しない」として積極的に検査申し込みができるようにし、市内飲食店(約 14,000 件)に令和 2 年 12 月 11 日に通知。
- ・検査実績 令和 3 年度；17 店 105 名（8 月 25 日現在）

(4) 感染症神戸モデルの強化（早期探知地域連携システム）

クラスター化を防ぐため、令和 3 年 4 月に各保健センター保健師を 1 名増員し感染症神戸モデル（保健所による平時からの施設への感染対策指導などの取組み）を強化した。施設訪問・研修などによる感染対策指導を徹底するとともに、過去にクラスターが発生したワクチン未接種の施設を重点的に巡回し感染対策状況の確認及び再発予防に向けての助言を実施。（183 施設訪問済（8 月 18 日現在））。

4 医療機関支援

新型コロナウイルス感染症に対応する市内医療機関を支援するため、患者の入院受入れ・検体採取を行う医療機関への助成のほか、「こうべ病院安心サポートプラン」による院内感染防止にかかる助成や、遠隔 ICU システムによる診療サポートを実施している。

また、コロナ治癒後の患者を受け入れる病院 73 病院との連携強化や、重症患者のコロナ治癒後の転院受入れ支援を実施している。

5 情報発信・風評被害対策など

(1) 情報発信・風評被害対策

- ・新型コロナウイルス感染は特別なことではなく誰もが感染する可能性があること、新型コロナウイルス感染症に関わる人々にあたたかいまなざしを送ってほしいことについて、駅のデジタルサイネージ等を活用して啓発（右記参照）。
- ・偏見を生む主な理由として、正確な知識・情報の不足による不安があることから、その不安解消のため、例えば、新型コロナウイルス感染症は空気感染ではなく飛沫感染及び接触感染であることなどの基礎知識や、受診・検査や入退院などのフローチャートを市のホームページに掲載するなど、正確な情報を発信する。
- ・令和2年9月より募集していた医療従事者等へ感謝の気持ちを伝える感謝・応援メッセージ（41件）を市内医療機関等へ送付。
- ・感染症の知識や正しい行動、ワクチンの効果・安全性について普及啓発する動画を作成し、5月10日から市ホームページやワクチン集団接種会場、YouTube等を通じて配信を開始した。また、神戸市公式YouTubeチャンネルで「今、できることを～自分からできるコロナ対策を考える」というテーマで医療従事者・大学生・地域からのメッセージ動画を配信（8月30日現在で約35万回再生）。
- ・6月1日から新型コロナの恐ろしさを正しく理解してもらい、感染防止対策の徹底、リスクの高い行動の自粛を呼びかけるため、感染患者の実体験をホームページにて音声データで発信している。（8月30日現在で約2万回再生）
- ・さらに患者への対応を行っている医療従事者からのメッセージ動画を配信し、第4波・第5波で感染者が増加する若年層への重症化リスク・ワクチンの効果などを啓発。



(2) 患者本人や家族等コロナの影響を受けた方へのこころの相談

各区保健福祉部等において、保健師及び精神保健福祉相談員が対応。

(3) 医療従事者等への心のケアにかかる電話相談窓口の設置

医療従事者や社会福祉施設従事者等に特化して、心のケアを行うことを目的に令和2年6月26日から電話相談窓口を設置。

- ・相談件数 371件（令和3年7月末現在）

(4) 自殺防止電話相談窓口の運営等

精神保健福祉センターにおける「自殺予防とこころの健康電話相談」（令和2年12月～2回線増設し計4回線）を運営するとともに、弁護士及び専門職が相談に応じる「くらしとこころの総合相談会」をハローワークにて実施（令和2年7月～）。

- ・「自殺予防とこころの健康電話相談」相談件数

令和2年度	3,848件	(前年度比	126%)
令和3年度(7月末現在)	1,632件	(前年度比	142%)
- ・「くらしとこころの総合相談会」相談件数

令和2年7月～令和3年7月	187件
---------------	------

6 市民への要請

(1) ワクチン接種

ワクチン接種が進んでいる高齢者ではワクチンの効果により、70歳以上の新規感染者の割合はこれまでは約20%であったが、7月以降は約4%に激減している。

一方、20歳・30歳代の感染者数や40歳・50歳代での重症化割合が増大している。今後、感染者数が更に増加していけば、若い世代においても重症者数が増加することとなる。

そのためにはワクチン接種により、発症予防・重症化予防を一層進める必要がある。

市民の皆様には、ワクチンの効果を踏まえて接種するかどうか判断をいただき、早めに接種を受けていただくことを呼びかける。

(2) 「マスク」と「距離」

感染者の8割程度が、十分な距離を取らず、マスクを外して会話したことが原因で感染しているため、「マスク」と「距離」を徹底いただくよう呼びかける。

- ①マスクを外して会話をしない。
- ②食事などで会話するときは、
 - ・1m以上距離をとる。
 - ・斜めに座る。横に並ぶ場合は、一つ席を空ける。
 - ・大声を出さない。

7 新型コロナワクチン

(1) ワクチン接種の意義

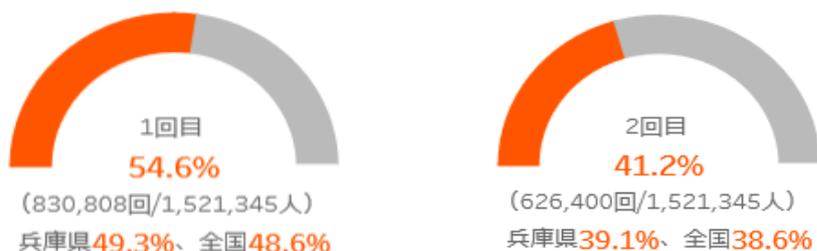
新型コロナワクチンは、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防するものであり、新型コロナウイルス感染症対策の切り札である。(発症予防効果はファイザー社製で約95%、モデルナ社製で約94%と報告されている。)

発症・重症化予防を進めるとともに、神戸の医療提供体制を守るために、市内の医療関係者が一丸となった連携体制により、ワクチン接種を安全かつ迅速に進めていく。

(2) 実施の状況

8月30日までに報告があった接種実績

○接種率



(3) スケジュール

- | | |
|------------|--|
| 3月 1日 | 専用コールセンターの開設 |
| 3月 14日 | 集団接種会場におけるシミュレーション |
| 4月 12日 | 高齢者施設での優先接種を段階的に開始 |
| 4月 19日 | 接種券（75歳以上）の発送 |
| 4月 20日 | 予約受付の開始 |
| 5月 10日 | 集団接種会場での接種開始 |
| 5月 17日 | 個別接種場所（診療所・病院）で接種を順次開始
接種券の発送（65歳以上75歳未満順次） |
| 5月 25日 | 神戸ハーバーランドセンタービル（歯科医師による接種）で接種開始 |
| 5月 31日 | ノエビアスタジアム神戸で接種開始 |
| 6月 11日～24日 | 接種券の発送（16歳以上65歳未満） |
| 6月 22日 | 集団接種会場5会場の追加設置（平日・土曜の午前接種に対応）
巡回接種の派遣開始 |
| 7月 1日 | 東横INN神戸三ノ宮1で知的障害者・精神障害者等向け接種開始 |
| 7月 2日 | ファイザー社製ワクチンの供給不足により、全ての接種会場・個別接種場所における1回目接種の新規予約受付を停止 |
| 7月 6日 | ファイザー会場の1回目予約キャンセル（個別接種場所は7月12日～）、モデルナ会場への予約振替を実施 |
| 7月 16日 | モデルナ会場で65歳以上の新規予約再開（ファイザー会場及び個別接種場所は7月26日予約再開） |
| 7月 22日 | モデルナ接種会場で基礎疾患がある方への予約再開（ファイザー会場及び個別接種場所は7月26日予約再開） |
| 7月 26日 | 64歳以下のキャンセル対象者の予約再開（全ての接種会場・個別接種場所） |
| 7月 30日 | 優先予約対象者（60～64歳の方、高齢・障害施設の従事者、医療実習生等）の予約再開（全ての接種会場・個別接種場所）
保育所、学校園、児童館等の従事者等の予約開始（ノエビアスタジアム） |

8月5日	40歳～59歳の方への予約開始(ノエビスタジアム) 配慮を要する方(知的障害者・精神障害者等)の予約再開・会場追加
8月17日	40歳～59歳の方への予約開始(ノエビスタジアム以外) 19～39歳の方の予約開始(ノエビスタジアム)
8月24日	19～39歳の方の予約開始(ノエビスタジアム以外)
8月27日	妊娠中の方への優先接種予約受付開始(集団接種会場)
8月30日	12～15歳の方の接種券発送 こども健康相談窓口(コールセンター)の開設
8月31日	12～18歳の方の予約開始

(4) 接種場所(令和3年8月31日現在)

○個別接種場所(診療所・病院。ファイザー社製ワクチン)

区別	施設数	区別	施設数
東灘区	119	長田区	44
灘区	87	須磨区	75
中央区	122	垂水区	92
兵庫区	54	西区	97
北区	91	全市	781

○集団接種会場(令和3年8月31日現在)

【ファイザー社製会場】

	地区	施設名
1	東灘区	御影公会堂1階
2	灘区	B B プラザ神戸
3	中央区	サンパル7階
4	兵庫区	兵庫区役所2階
5	兵庫区	イオンモール神戸南店3階
6	北区	北区文化センターすずらんホール
7	北区	エコール・リラショッピングセンター本館5階
8	長田区	長田区文化センター3階
9	須磨区	須磨区役所4階
10	垂水区	垂水区文化センター3階レバンテホール
11	西区	西神中央駅2階北側
12	西区	西神文化センター
13	中央区	市役所1号館24階

【モデルナ社製会場】

	地区	施設名
14	東灘	神戸ファッションプラザ9階
15	中央区	IHDセンタービル9階会議室 (WHO神戸センター隣)
16	中央区	神戸学院大学ポートアイランド 第2キャンパス 学生ラウンジ
17	須磨区	須磨パティオ健康館2階
18	西区	キャンパススクエア本館2階 <input checked="" type="checkbox"/> バティホール)

○大規模接種会場（神戸市独自に設置）

ノエビアスタジアム神戸（モデルナ会場）

接種数について、当初1日平均約1,000人から段階的に拡大

（9月に1日最大約7,000人まで拡大）

※神戸ハーバーランドセンタービル（ファイザー会場）は、5月25日～7月31日まで設置

○配慮を要する方への接種

- ・知的障害者・精神障害者の方向けの接種会場（ファイザー会場）

（ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟・神戸市医師会北部休日急病診療所など）

1回目接種済：433名 2回目接種済：231名（令和3年8月31日現在）

- ・寝たきり状態にある高齢者等への巡回接種（ファイザー社製ワクチンを使用）

1回目接種済：85名 2回目接種済：53名（令和3年8月31日現在）

8 妊婦の方への対応

（1）妊娠中の方とその夫・パートナーへのワクチン接種

妊娠中に新型コロナウイルスに感染すると、特に妊娠後期は重症化しやすく、早産のリスクも高まるとされている。妊婦が感染する場合の約8割は夫やパートナーからの感染であり、このため、集団接種会場において妊娠中の方とその夫・パートナーの方が優先的に接種できるよう特別枠を設けて8月27日より予約を受け付けている。

1. 対象者

- ① 市内在住または出産のため市内に里帰り中の妊娠中の方
- ② 母子健康手帳に記載された夫またはパートナーの方

2. 特別枠

1日あたり128枠

ファイザー会場 1日あたり、6枠/会場×13会場

モデルナ会場 1日あたり、10枠/会場×5会場/1日

3. 予約の方法

専用ダイヤル 078-277-3323

4. 優先予約実績

549名（8月30日時点）

（2）感染した妊産婦を受け入れる産科医療機関の確保

新型コロナウイルスに感染した妊婦については、症状や妊娠週数に応じて、中央市民病院をはじめとする市民病院3病院を含む6病院の協力により入院体制を整えている。